

第2号議案

令和4年度事業計画(案)及び収支予算(案)の承認について

令和4年度事業計画(案)

1. 事業実施の方針

今年度は地球温暖化やロシアのウクライナ侵攻等世界情勢が混とんとしている中、海外での悪性伝染病の発生や飼料の高騰、円安の進行等畜産を取り巻く環境は大変厳しい状況にあります。

このため、公益社団法人千葉県畜産協会の指導の下、状況を鑑みながら農場 HACCP 推進指導事業や JGAP 構築支援、BSE 検査の協力、家畜飼養、衛生環境等の指導力向上に努めるとともに畜産経営の向上等に向けて支援・推進します。

また、中央畜産会や県等が取組んでいる各種事業に積極的な支援をするほか、生産者と消費者、学校等との交流事業を実施し、児童生徒を対象に家畜と触れあう情操教育の場を提供するなど、消費者への畜産理解と消費の拡大を推進します。

2. 事業活動

(1) 農場 HACCP 構築支援指導 (公益社団法人中央畜産会)

本事業は今年度新たな3年間事業として出発します。現在農場 HACCP 認証構築指導に取り組んでいる農場の認証に向けてより一層の推進を図っていく予定です。また、県内の認証農場(59農場)も多くなっていることから計画的な認証農場への内部検証等更なる飼養衛生管理強化向上の支援に努めます。

(2) JGAP 認証構築等支援

県と連携を図り希望農場への JGAP 畜産版の普及推進、構築支援に努めます。

(3) 死亡牛等の受入及び保管等補助業務受託(公募千葉県：事業費4,048千円)

昨年同様に中央家畜保健衛生所(佐倉)との委託契約に基づき‘死亡牛等の受入及び保管等の業務を補助する業務’を推進します。(会員4名、1年間：184日)

3. 畜産研修会：千葉市内等2回開催予定(新型コロナ蔓延状況を鑑み計画します。)

4. 人材情報システム運営及び畜産情報収集・提供事業

(1) 本会のホームページのさらなる充実

(2) 今年度も千葉県農業大学校からの畜産部門講座の非常勤講師の依頼があり、畜産人材バンク登録者の本会会員を紹介しました。本会会員の活躍の場を広げるため、これからも各方面への人材提供に努めます。

5. 畜産団体事務受託事業等

(公社)千葉県畜産協会等からの要請に応じて本会員を派遣して事務処理に努めます。

外国人研修生等を対象とした衛生研修会の開催（出前研修）

昨年度新しい飼養衛生管理基準に対応した外国時技能実習生を対象としたパンフレットを希望する農場へ配布するとともに、養豚場だけでなく広く牛、鶏農場へも出向いて研修会を開催します。希望者は是非この機会に千葉県畜産協会へ申し込んでください。年間計画を立て農場の都合の良い時間に通訳を伴い伺う計画です。

6. 消費者交流・動物情操教育事業

(1) (公社)千葉県畜産協会や千葉県馬事畜産振興協議会が実施する畜産フェアに参加して、消費者に対して畜産を正しく理解してもらうための広報に努めます。また、他の催しにも積極的に参加し、畜産相談等のコーナーを展開します。

(2) (公社)千葉県畜産協会や関係団体主催の畜産ふれあい体験交流・研修会等へ積極的に参加するよう努めます。

7. 調査・試験研究事業

畜産振興を図るうえで、行政機関や研究機関・畜産団体等からの調査・研究事業を積極的に受託、または協力・支援に努めます。

8. その他

本会の目的を達成するために必要な事業を実施します。

9. 総会・理事会等の開催

(1) 総会・理事会：本会の円滑な活動を推進するため適宜開催します。

(2) 各部会活動等

上記各事業を適正かつ効率的に実施するため、役員、各部会長の指示のもと、必要に応じて会議を開催するとともに所要の活動を実施します。